

# てんじん

連携ニュース

独立行政法人  
国立病院機構 甲府病院  
山梨県甲府市天神町十の三十五  
電話〇五五二一五三六三三(天代巻)  
発行責任者  
院長 長沼博文

2007年2月1日発行  
第14号

<http://www.hosp.go.jp/kofu/>



## 内科の新診療体制 について

内科系診療部長 渡邊 吉康

本来なら厳冬の頃ですが、暖冬に驚くばかりの今日この頃、皆様にはお元気で過ごしてのことと思います。

さて、新年に入ってから病院に掲示いたしましたので、存じの方もおられると思いますが、四月から内科の診療体制が大幅に変わる予定です。

大変に残念なことですが、人員減少のため診療体制を縮小せざるを得ない状況となりました。当院をご利用いただいている患者さまとご家族、当院をご支援いただく多くの皆様、地域連携の医療関係の皆様にご説明するため、この

場をかりてお話しいたします。

当院の内科では、一般内科、呼吸器科(結核診療を含む)、循環器科の診療を行っておりますが、今年の三月末で呼吸器科医師、循環器科医師が退職することが決まっております。従来であればその後任の医師が就任するのですが、いまだに後任が決まっております。

これまで、当院の内科医師の大半は大学病院や医療センターの医局よりの派遣医師で構成され内科診療を行ってまいりました。しかしながら、全国的な医師不足に加え、平成十六年より開始された新卒

医師のための新臨床研修制度のため、派遣医師の確保が困難となりました。

これにそなえ、当院では新病院が起工する前から、何年にも渡って医師の確保に努力して参りましたが、新たな医師の確保は誠に困難で、常勤医師は一名、週一回午前中の診療を非常勤で担当する医師二名がなんとか新たに就任していただけのが現状です。

これまでも内科は診療内容に必要な医師の人数にたいして定員割れの状態で診療を行ってきました。特に二年前に循環器科の医師2名が退職した後任の医師が就任せず内科人員が減少した時点では、それまで行ってきた心臓カテーテル検査、カテーテルによる各種の治療、ペースメーカーの植え込み、心臓核医学検査など、循環器科の多くの精密検査や治療法が行えなくなりました(これは循環器科医師の確保がなされればすぐに再開できる診療ですが・・・)。

また循環器科を中心に内科診療そのものの縮小を余儀なくされました。このことは、残った内科医師に大きな負担を強いることとなり、そのた

め今回退職することになった医師二名もその後の後任の見込みがたないため、誠にありがたいことに大幅に任期を延長して当院の診療にあたってきていただきました。しかしながら、その後も後任医師の確保はならず、限界となった今年度末で内科はついに更なる人員の減少となりました。

その結果、呼吸器科の常勤医師の退職と、それに対する新任の呼吸器科医師の就任がかなわないことから、西甲府病院から受け継いできました長い歴史と実績のある結核診療の継続が出来なくなり、一月二十六日より新たな結核患者の診療を休止し、この三月をもって結核病棟の休棟、外来診療の休止、また関連しておこなってきた結核家族健診、接触者健診、管理健診もほぼ休止となります。マンパワー不足の影響の大きさを痛感せざる終えません。また、肺癌を含む各種の呼吸器科疾患の診療も困難となります。一方、循環器科常勤医師の退職で、循環器科の診療と精密検査の大部分が行えなくなります。

公立病院の果たすべき社会

的役割のうえで、誠に心苦しい限りですが、内科の常勤医師が五名から三名となるため、外来はほぼ常勤医二診体制となり、内科全体での診療可能な患者数も大幅に減少します。このことは現在当院の内科に通院されている患者さまの人数の診療はほぼ不可能となつて、このうちの多くの方々に他の医療機関にご紹介せざるを得ない状況になることを意味します。また、入院診療もこの少ないマンパワーで行うため、外来診療同様に縮小せざるを得ない状況となります。

早急に内科医師(循環器科医師、呼吸器科医師)を確保して、診療体制の立て直しを実現し、地域の皆様に、以前にもまして充実した医療の提供を行えるよう努力していきたいと存じます。今後、やむを得ず多くの患者さまに他の医療施設へのご紹介や、診療面でも待ち時間の大幅な延長など、大変ご迷惑をおかけすることになると思われますが、当院の事情をご理解賜り、なにごとご協力いただけますようお願い申し上げます。

治療について解説します。  
**半月板とは**、膝関節の内側と外側にある三日月状の線維軟骨のことをいい、膝を安定させ加重を分散し衝撃を和らげるクッションのような役目を果たしています。多くはスポーツ時に足部が何らかの形で固定された状態で膝に捻れが加わった場合に損傷されます。一方、中年では何でもない日常生活動作で損傷されることがあり、加齢によって半月板そのものが脆弱化し傷つきやすくなっていることが考えられます。

細い内視鏡カメラを関節内に挿入することにより、モニタに映し出された映像をみながら診断をすすめていくことができ、七ミリ程度の小切開で損傷部の処置(縫合や部分切除など)を行うことができます。術後は数週間で独歩可能となり、スポーツにも早期に復帰することが可能となります。

若い人は勿論のこと、中年の方も加齢変化だと諦めずに専門医に相談することをお勧めします。

### 診療科案内

## 整形外科

整形外科医師 落合 聡司



### 膝半月板損傷について

膝の痛みで整形外科を受診される方は非常に多いのですが、原因として膝の半月板損傷が関わっていることは少なくありません。そして近年、

半月板損傷はスポーツ外傷だけでなく、中高年の膝痛の原因としても注目されています。当科では半月板損傷の治療を積極的にを行い、概ね良好な結果が得られています。今回はこの半月板損傷の病態と

**半月板が損傷されると**疼痛や腫脹が生じ、断裂半月板が関節に噛み込んでしまうと膝が曲がったまま伸びなくなることもあります。断裂した半月板を放置すると症状が持続するだけでなく、関節軟骨を傷つけ骨を変形させる原因にもなります。

**半月板損傷の診断には**、MRI(磁気共鳴画像法)検査が有用であります。より診断率が高く、かつ治療にも直結する方法として関節鏡という検査法があります。鉛筆ほどの



関節鏡による手術風景



職場紹介

研究検査科

臨床検査技師長 狩野 利四郎

当検査科は大きく分けて、採血・検体検査・生体(生理)

検査の三部門に分かれており月平均六三、一〇〇件の検査項目依頼があります。依頼項目は検体検査の一部を除きオーダーリングシステムを利用してあります。患者様の名前や依頼項目が入った採血管・尿カップ等をバーコードで対応し、待ち時間の短縮・迅速かつ正確な検査結果をだすべく十名のスタッフともども日々努力しております。

《採血業務》

● 技師一〜二名と看護師さん

一名の援助をうけ、外来患者様の採血。

● 翌日・土・日・祭日分の病棟への採血管及び尿カップ等を作製準備し配布。

《検体検査》

● 生化学検査(肝機能・腎機能・内分泌・負荷試験・免疫・感染症・腫瘍マーカー等)

● 血液検査(血算・血液像・血沈・血液型・凝固・輸血関係等)

● 一般検査(尿・糞便・穿刺液・髄液・精液・インフルエンザ・RS・Adウイルス等)

● 細菌検査(好気性菌・嫌気



病理検査

性菌・抗酸菌・真菌等)

● 病理検査(組織診・細胞診等)

《生体検査》

● 心電図検査(12誘導・負荷・トレッドミル・ホルター)・超音波検査(心臓・腹部等)・脈波検査・肺機能検査・脳波検査・聴力検査・神経伝導速度検査



採血室



生理機能検査



生化学検査



細菌検査



血液検査



一般検査

これら様々な検査の精度と質の向上を維持するに当たり、毎年日本医師会・日本臨床検査技師会・県技師会・各試薬メーカー等のコントロールサーベに参加し、評価評点をもとに改善するべき情報をとりいれています。

医療を取り巻く環境は厳しく、「患者様の目に見え、正確かつ迅速なる検査」を三六五日二十四時間提供したいと思っております。検査科一同、患者様や他部門とのコミュニケーションを取りながら、スキルアップによる医療内容の充実をより深める事が、これからの課題と思っております。

## 外 来 診 療 担 当 表

平成19年2月1日現在		月	火	水	木	金
内 科	1	渡 邊	川 口	渡 邊	渡 邊	渡 邊
	2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	川 口	黒 澤
	3	川 口	尾 畑	高 木	中 尾	高 木
	4	高 崎	高 崎		高 崎	
	5					
脳神経外科	5		長 沼			長 沼
特 殊 外 来 <small>午後3:00~</small>		高 木		高 崎		高 崎
精 神 科			平 野・塩 江			
小 児 科	1	久 富	稲 見	久 富	久 富	稲 見
	2	加 藤	田 口	斉 藤	加 藤	田 口
	3	中 根	神 谷	中 村	中 根	野 口
	3	中 村	野 口	神 谷	第1週 島 山 第4週 第2週 神 谷 第3週 小 野	中 根
消 化 器 科		河 口	稲 岡	稲 岡		河 口
外 科		鈴 木	角 田	竹 花	鈴 木	角 田
整 形 外 科	1	萩 野	若 生	若 生	萩 野	萩 野
	2	若 生	落 合	落 合	落 合	落 合
泌 尿 器 科		相 川	川 口	相 川	相 川	相 川
産 婦 人 科	1	深 田	深 田	高 木	深 田	深 田
	2	伊 東	高 木	伊 東	伊 東	高 木
	3	山梨大学より				山梨大学より
眼 科		古 市	古 市	古 市	手術日	古 市
耳 鼻 咽 喉 科					矢 崎	

※乳児健診(小児科) 毎週火・木曜日 (完全予約制)  
 ※予防接種(小児科) 毎週水曜日 (完全予約制)  
 ※人間ドック 毎週月・火・木曜日 (完全予約制)  
 ※脳ドック 毎週火・金曜日 (完全予約制)  
 ※結核検診 毎週月・水・金曜日 14時から16時  
 ※毎月第4金曜日 黒澤医師 糖尿病教室

**看護職員を募集しています。**  
 【お問い合わせ先】看護部長室  
**TEL/055-253-6131 (代)**  
**FAX/055-251-5597**

### 編集後記

新年が明けたと思ったら、早いものでひと月が過ぎようとしています。

この二月号が皆様のお手元に届く頃には、寒さも一層厳しくなっていることと思いますが、それが過ぎれば一気に暖かい春がやってくることを信じて、くれぐれもお体には気をつけてお過ごし頂ければ、と思います。

さて、本誌「てんじん」ですが、今月号より編集担当者が変わりました。

若輩者のためなにかと不便をかけることもあるかと存じますが、今後とも本誌「てんじん」に変わらぬご愛顧を宜しくお願い致します。  
 (M・Y)

**医療連携室直通電話**  
 TEL 055-240-6223(代)  
 FAX 055-240-6225